学校番号	３１２

令和２年度　芸術科［音楽］

教科	（専）音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　音楽通論　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「視唱」「聴音」「楽典」の３分野を年間通して学習します。
■学習の到達度は、授業での練習問題や実技テストなどで評価します。
■音楽的能力は身体能力の一部という観点でとらえ、向上心を持って授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽やそれを表現する手段としての楽譜に関心を持ち、歌唱、聴音の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な楽譜を読みとる技能を身につけ、創造的に表している。	音楽に関する基礎的な理論を理解し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深めようとしている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 演奏の発表 練習問題	観察 ワークシート 筆記テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	発声の基礎と基本練習	【視唱】 コンコーネ 50 番練習曲より 1番から 12 番まで	○	○	○		a:音域と発声の関係に関心をもち，それらを生かして正確に歌唱することに主体的に取り組もうとしている。 b:リズム，速度，旋律，強弱を知覚した上で、どのように音楽的に歌うか表現意図をもっている。 c:旋律における音の方向性やフレーズのまとまり，自然な抑揚といった音楽性豊かな表現をするために，必要な歌唱の技能を身に付け，創造的に表している。	観察 演奏の聴取
	楽譜への書き取り方の基本	【聴音】 ハ長調 4分の2拍子、4分の3拍子、 4分の4拍子、8分音符までの 単純なリズムでのメロディー聴音	○	○	○		a:演奏されたメロディーとリズムに関心をもち，正しく音符に書き取ることに主体的に取り組もうとしている。 b:調性、拍子、メロディー、リズムの要素を感受しながら、どのように見やすく演奏しやすい楽譜にするのか表現意図をもっている。 c:短時間のうちに，正確に音楽を聴き取り楽譜に表現出来る必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 練習問題 聴き取った楽譜での演奏
	楽譜の仕組み	【楽典】 音の長さ 音の高さ 記譜法	○			○	a:楽譜の成り立ちや記譜法に関心をもち，理解することに主体的に取り組もうとしている。 d:**楽譜**を形づくっている要素を理解し，それが演奏でどのように表現されているかを考え音楽に対する理解を深めている。	観察 ワークシート 筆記テスト
2学期	豊かな音楽表現を目指して	【視唱】 コンコーネ50番練習曲より 13番から40番まで	○	○	○		a:音域と発声の関係に関心をもち，それらを生かして正確に歌唱することに主体的に取り組もうとしている。 b:リズム，速度，旋律，強弱を知覚した上で、どのように音楽的に歌うか表現意図をもっている。 c:旋律における音の方向性やフレーズのまとまり，自然な抑揚といった音楽性豊かな表現をするために，必要な歌唱の技能を身に付け，創造的に表している。	観察 演奏の聴取

	さまざまなメロディーの聴音	【聴音】 ハ長調、ト長調、ヘ長調など 4分の2拍子、4分の3拍子、 4分の4拍子、8分の6拍子、 様々なリズムでのメロディー聴音	○	○	○		a:演奏されたメロディーとリズムに関心をもち，正しく音符に書き取ることに主体的に取り組もうとしている。 b:調性、拍子、メロディー、リズムの要素を感受しながら、どのように見やすく演奏しやすい楽譜にするのか表現意図をもっている。 c:短時間のうちに，正確に音楽を聴き取り楽譜に表現できる必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 練習問題 聴き取った楽譜での演奏
	音楽の仕組み	【楽典】 音程 音階 和音	○			○	a:音程や音階の成立や成り立ちが音楽の仕組みにどの様に影響し表現されてきたのかに関心をもち、理解することに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら楽曲を解釈し，それが楽譜上でどのように表現されているかを考えて音楽に対する理解を深めている。	観察 ワークシート 筆記テスト
3学期	豊かな音楽表現を目指して	【視唱】 コンコーネ50番練習曲より 13番から40番まで	○	○	○		a:音域と発声の関係に関心をもち，それらを生かして正確に歌唱することに主体的に取り組もうとしている。 b:リズム，速度，旋律，強弱を知覚した上で、どのように音楽的に歌うか表現意図をもっている。 c:旋律における音の方向性やフレーズのまとまり，自然な抑揚といった音楽性豊かな表現をするために，必要な歌唱の技能を身に付け，創造的に表している。	観察 演奏の聴取
	和音を聴き取る	【聴音】 4声の単純な和声聴音	○	○	○		a:演奏されたハーモニーとコード進行に関心をもち，正しく音符に書き取ることに主体的に取り組もうとしている。 b:ハーモニーを感受しながら、どのように見やすく演奏しやすい楽譜にするのか表現意図をもっている。 c:短時間のうちに，正確に音楽を聴き取り楽譜に表現できる必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 練習問題 聴き取った楽譜での演奏

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。